The background image shows a rural landscape with mountains in the distance and a building in the foreground. The sky is blue with some clouds. The text is overlaid on a semi-transparent white box.

**平成30年度福島県
「大学生の力を活用した集落復興支援事業」**

**南会津町耻風地区
実証実験報告**

獨協大学地域活性化プロジェクト大竹チーム

目次

1. はじめに
2. 南会津町耻風地区の概要
3. 耻風地区の現状と問題点・取り組むべき課題
4. 今年度の実証実験
5. 今年度実施した実態調査
6. 次年度以降に向けた企画提案
7. おわりに

はじめに

大竹チームは、飯島竜太郎(代表:経営学科4年)、荒井眞子(副代表:国際環境経済学科2年)、小林風夏(副代表:同2年)、山田雄大(同4年)、中川里佳子(経済学科2年)、澤田美結(国際環境経済学科2年)、羽賀咲弥加(同2年)の3学科7名からなるチームです。さらにサポーターとして、森涼太(経済学科2年)、山本有紗(国際環境経済学科2年)も加わり、計9名で活動しています。

昨年より南会津町耻風地区へ実態調査に入り、今年度から実証実験に入った結成2年目のチームで地区との交流を深めながら新規商品の開発、イベントの共同実施を行っています。



2. 南会津町耻風地区の概要



耻風地区の概要



地理院地図

<https://maps.gsi.go.jp/#9/37.148277/139.504395/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0l0u0t0z0r0f0>

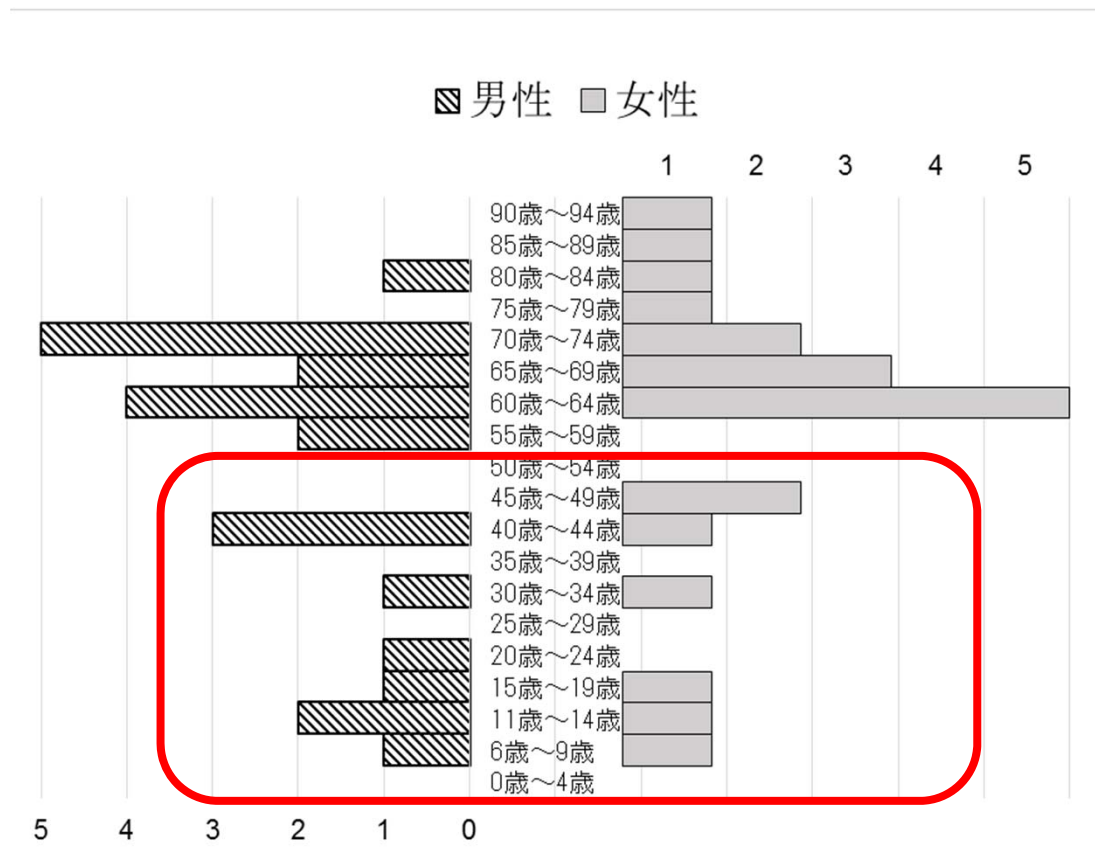
- 国道352,401号に面している
- 会津田島駅より約40キロ。同駅より路線バスあり
- 標高約630メートル
- 東西を山に囲まれた地形で南北に流れる舘岩川沿いに集落が密集する
- 主な産業は農業。現在はそば、果樹、野菜の栽培が盛ん
- 稲作は行っていない
- 冬の降雪量が多い豪雪地帯
- 尾瀬口へ向かうルートの中に集落が位置している



3. 耻風地区の現状と問題点・取り組むべき 課題



3.1. 耻風地区の人口減少と少子高齢化



- 人口は44名(男性23名 女性21名)
- 出生率の低下
- 高齢化率は38.64%と高い
 - 雪かきなどの負担の増加
 - 農作物の生産額の減少
- 進学や就職先が少ない
 - 一度集落から離れると戻ってこない
 - 特に、10代後半から50代前半までの人口が少ない

[出典]出典人口統計ラボ耻風年齢別人口を元に作成
参考URL(<https://toukei-labo.com/2010/danjo.php?tdfk=07&city=07368&id=81>)

3.2. 今年度取り組むべき課題



① 耻風の特産品のブランド化(そば粉のパッケージ刷新)

→シンプルで人目につきにくい

→耻風の地区の名前が入っていない

そのため

パッケージを独自の物に変え耻風をアピール

耻風ブランドを作り地区のPR



② 獨協大学と耻風地区の交流会

・獨協大学に耻風住民を呼び特産品の紹介を行う

・ソバ打ちの実演と実食

・スキー場、耻風地区の旅館の紹介

→獨協大学では定期的に学内において地域の方との交流が行われている

そのため耻風と協働による物産展、地区紹介による合宿誘致などを提案

4. 今年度の実証実験



4.1. 「南会津町 伊南川あゆまつり」 への出店



• そば粉パッケージデザインを提案した際に、そば粉の使い道としてガレットを提案
→ 南会津町のあゆまつりへの出店が決定

• 当日は、地区の方が物産展、獨協大学はガレットを販売
→ お客様に好評で売り上げ目標の**100食**達成!!

• 獨協と地区のコラボTシャツも開発(右図)



4.2. 獨協大学「雄飛祭」における 物産展の出店



・耻風地区とのコラボ商品「そばポン」の販売

→地区の方が自宅用に作っていたものを獨協大学がラベルを考案し販売 (右図 獨協考案ラベルデザイン)

・学内サークルや部活、ゼミナール、学外の団体向けに耻風地区の紹介を実施

→販売品の中には普段見られないものもあったので購入してくださるお客様も多かった



4.3. 草加市「ふささら祭り」への 地区との共同出店



- 地区の住民と大学のある草加市の祭りへの共同出店の実現
- 草加市民が多く集まる場であり、雄飛祭よりも幅広い人に見てもらえる
→ 耻風地区の効果的な魅力PRが可能
- 新たな味のガレットの開発
→ 地区でなじみのあるマトンと南郷トマトを用いてマトンガレットを開発

4.4. 獨協大学における瀬川地区の物産展 開催～Earth Week Dokkyo2018～



・夏、冬の2回開催(冬は本村地区と瀬川地区との共同開催)
→周辺住民向けにビラのポスティングなどを行った結果多くの住民に知って貰えた

・そばの実、そばポン、そば茶の試食会を実施
→来場者に地区の特産品の美味しさを理解して頂け、他のイベントよりも売れ行きが上がった (右図 そば茶)



5. 今年度実施した実態調査

- ・耻風地区の神事の調査
- 実際に住人の方と一緒に体験
- 宮司の方からの神社についての聞き取り



- ・耻風付近の飲食店調査
(会津田島駅周辺～耻風地区の範囲)
- 道路沿いに目立った飲食店は少ない
- 地区の若者たちが集まるような場所少ない



6. 次年度以降に向けた企画提案



6. 今年度実施した実態調査と課題設定

- 6.1. 「南会津町鮎祭り」出店の継続化に関する提案
- 6.2. 獨協大学における物産展開催に関する新たな提案
- 6.3. 耻風の特産品を用いた商品開発の継続の提案
- 6.4. 蔵のリノベーション
- 6.5. 耻風住民向け広報誌「風の子通信」を継続刊行及び広報強化にむけた提案
- 6.6. 蕎麦打ちイベントの開催による耻風地区の認知度向上にむけた提案



ご清聴ありがとうございました。